

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公表番号】特表2012-511013(P2012-511013A)

【公表日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2011-539719(P2011-539719)

【国際特許分類】

C 0 7 D 207/27 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 207/27 C S P Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月5日(2012.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

本明細書において数値の範囲が言及されているか設けられている場合、この範囲は、その端点、ならびに、この範囲内のすべての個別の整数および少数を包含し、また、その中のより狭い範囲であって、これらの端点ならびに内部の整数および少数のすべての種々の可能な組み合わせにより形成されて、同様に規定された範囲内の値のより大きな群のサブグループを形成するより狭い範囲の各々を、これらのより狭い範囲の各々が明確に言及されているかのように包含する。本明細書において、規定された値よりも大きく数値の範囲が規定されている場合、この範囲は、それにもかかわらず、有限であり、本明細書に記載されている本発明の文脈の範囲内で使用可能である値によるその上限において有界である。本明細書において、規定された値よりも小さく数値の範囲が規定されている場合、この範囲は、それにもかかわらず、ゼロ以外の値によるその下限において有界である。

この明細書において、使用の文脈によって、違ったように明記されるか、または逆のことが指し示されない限り、本明細書において挙げられている量、サイズ、範囲、配合量、パラメータ、および他の量および特性は、特に「約」という用語によって修飾されている場合、正確である必要はなくてよく、また許容差、換算係数、丸め方、測定誤差等を反映して、ならびに本発明の文脈内で、記載した値に対して機能的なおよび/または操作可能な均等性を有する記載した値からはずれた値のものの、記載した値の範囲内への包含を反映して、近似値であってもよく、および/または記載したもののよりも(所望に応じて)大きくても、または小さくてもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

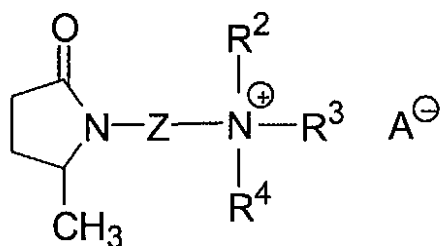
【補正の内容】

【0 0 5 6】

以上、本発明を要約すると下記のとおりである。

1. 以下の式 I:

【化 9】



式 I

〔式中：

(a) Z は $-(CH_2)_n-$ であって、ここで n は 2 ~ 12 の整数であり；(b) R^2 、 R^3 および R^4 の各々は、独立して、H または $C_1 \sim C_6$ 直鎖もしくは分岐アルキル基であり；そして(c) A^- は、レプリネート、 $[CF_3 - O - CFHCF_2SO_3]^-$ 、 $[CF_3CF_2OCFHCF_2SO_3]^-$ 、または $[CF_3CF_2CF_2OCFHCF_2SO_3]^-$ である〕

の構造によって表される化合物。

2. n が 2 ~ 6 の整数である、上記 1 に記載の化合物。

3. n が 2 である、上記 1 に記載の化合物。

4. R^2 、 R^3 および R^4 の各々が、独立して、H、 $-CH_3$ 、 $-CH_2CH_3$ 、または $-CH_2CH_2CH_3$ である、上記 1 に記載の化合物。5. R^2 および R^4 が $-CH_3$ である、上記 1 に記載の化合物。6. R^3 が $-CH_2CH_2CH_3$ である、上記 1 に記載の化合物。7. A^- がレプリネートである、上記 1 に記載の化合物。8. n が 2 ~ 4 の整数であり、 R^2 、 R^3 および R^4 の各々が、独立して、H、 $-CH_3$ 、 $-CH_2CH_3$ 、または $-CH_2CH_2CH_3$ である、上記 1 に記載の化合物。9. n が 2 ~ 4 の整数であり、 R^2 および R^4 が $-CH_3$ であり、 R^3 が $-CH_2CH_2CH_3$ である、上記 1 に記載の化合物。10. n が 2 ~ 4 の整数であり、 R^2 および R^4 が $-CH_3$ であり、 R^3 が $-CH_2CH_2CH_3$ であり、 A^- がレプリネートである、上記 1 に記載の化合物。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

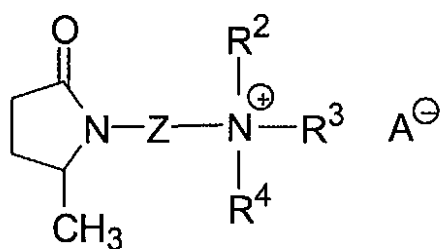
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の式 I：

【化 1】



式 I

〔式中：

(a) Z は $-(CH_2)_n-$ であって、ここで n は 2 ~ 12 の整数であり；

(b) R^2 、 R^3 および R^4 の各々は、独立して、H または $C_1 \sim C_6$ 直鎖もしくは分岐アルキル基であり；そして

(c) A^- は、レプリネート、 $[CF_3 - O - CFHCF_2SO_3]^-$ 、 $[CF_3CF_2OCFHCFCF_2SO_3]^-$ 、または $[CF_3CF_2CF_2OCFHCFCF_2SO_3]^-$ である]

の構造によって表される化合物。